

公益財団法人 洲崎福祉財団 令和4年度上期一般助成

訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ@希林館」 における ICT 機器の充実事業 報告書



特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所

令和5年1月15日

訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ@希林館」 における ICT 機器の充実事業

1. 目的

訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ@希林館」（以下、訪問カレッジ）の学習支援では、これまで学生の学びのニーズに応じて、ICT 機器やスイッチなどを学習に活用してきた。

令和2年からはじまる新型コロナウイルス感染症拡大のため、学校教育同様に対面の授業が困難になった。そこで、学生の自宅や病院・施設のネット環境、ご家族や病棟スタッフの協力の有無、学習支援員のスキルなどの条件にもよるが、徐々に学習支援をオンラインで行うケースも増えた。

そこで、オンライン学習を充実するため学習支援員及び学生が使用する学習機材（iPad 等の ICT 機器と入力等に使用するデバイス）の充実を目的に本事業を行う。



2. 訪問カレッジにおける学習支援の対象者

訪問カレッジの学生は、人工呼吸器等を必要とする医療的ケア者および重症心身障害者である。特別支援学校を卒業後、障害や病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の方のご自宅等を学習支援員が訪問して、生涯学習支援を行っている。

3. 期待される効果

文部科学省 GIGA スクール構想により、特別支援学校高等部段階で生徒は、補助教材費を活用して学習に使用する ICT 機器を購入できるようになった。来年度、訪問カレッジへの入学を希望されている学生は、施設入所者のため現時点では対面が難しく、オンライン授業を希望している。また、現在、オンラインによる学習をしている施設入所の学生が 2 名、在宅の学生が 2 名在籍している。この他、日常的に ICT 機器を活用した授業を行っている生徒も多い。この事業によってオンラインによる学生の学びを保障、充実を図ることが可能となる。

4. 購入機器一欄

品名	単価	数量	金額(税込)
iPad(10.2 インチ 第9世代)	49,800	4	199,200
iPad 第9世代用ケース	1,480	4	5,920
iPad 第9世代用フィルム	1,249	2	2,498
iPad mini(8.3 インチ 第6世代)	78,800	1	78,800
iPad mini6 用ケース	1,999	1	1,999
iPad mini6 用フィルム	650	1	650
Apple Gift Card	10,000	2	20,000
COSMO	191,400	1	191,400
ビッグステップバイステップウイズレベル	50,600	2	101,200
ステップバイステップチョイスウイズレベル	48,000	2	96,000
スペックスイッチ	11,000	2	22,000
ビッグスイッチツイスト	11,000	1	11,000
ジェリービーンスイッチツイスト	11,000	2	22,000
シンプルタッチスイッチ2	4,350	2	8,700
ラッチ&タイマー LT2	8,700	1	8,700
でき iPad2	20,300	3	60,900
合計金額			830,967

(洲崎福祉財団助成金 740,000 円 自己資金 90,967 円)

5. 購入機器の写真

①箱に入った未開封状態

②開封状態



③助成をうけた機器類に「2022洲崎福祉財団助成」のシールを貼って管理



黄色枠:iPad 青色枠:iPadと接続する機器 赤色枠:VOCA 緑色枠:スイッチ類

④戸棚に入れて ICT 機器類を管理



6. 訪問カレッジ学習支援員打合せ会における ICT 機器の取り扱い学習会

(1) 日時 令和 5 年 1 月 12 日 (木) 午後 2 時 30 分から 3 時 30 分

(2) 場所 特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所事務所

〒187-0043 東京都小平市学園東町 1 丁目 22-6

(3) 参加者 訪問カレッジ学習支援員 9 名

(4) 目的

購入した ICT 機器等の取り扱いを学習支援員が学ぶことで、

- ① 令和 5 年度 4 月 入学予定の学生のオンライン授業に活用
- ② 学習で使用していた学習支援員の私物 ICT 機器を法人が用意した機器に変更する
- ③ 訪問カレッジの学生の学びの充実

を図る。

(5) 学習会の様子



iPad と各種スイッチ



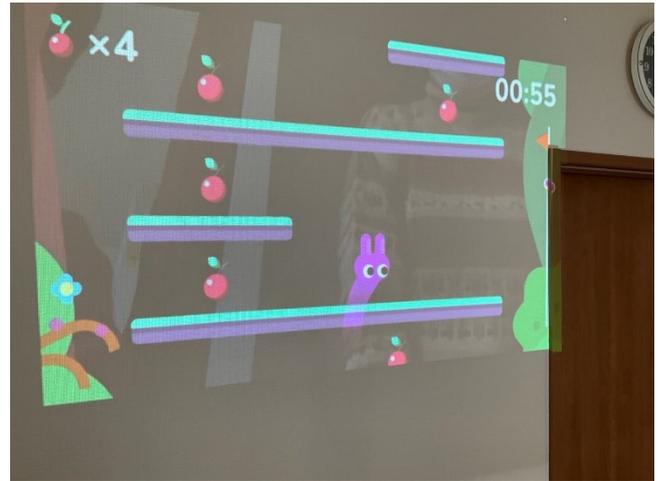
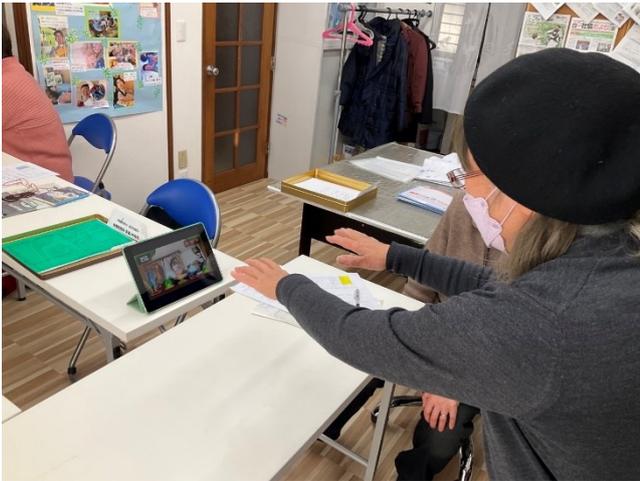
COSMO の操作



iPad アプリ「タッチトレイン」



iPad アプリ「みずあそび5」



iPad アプリ「Active Arcade」



iPad と COSMO



iPad アプリ「おしりたんてい」のページめくり

7. 今後の取り組み及び課題

令和5年度4月から入学予定の学生については、現在、在学している学校の担任と入所施設との間で、卒業後の進路指導として、訪問カレッジのオンライン授業の実現に向けた調整を行っていただいている。具体的には、

①入所者（学生）のiPad を施設のネットワークに接続することの許可

②授業時間帯に本人の iPad の配置および電源スイッチの操作を施設スタッフに行ってもらいなどがある。当法人としては、オンライン学習で使用する端末として iPad が確保できたので、学生の学びに効果的な活用方法を実践しながら検討する必要がある。

訪問カレッジでは前述したように、これまでもオンライン授業やICT機器を活用した学習支援に少しずつ取り組んできた。今回購入した機器の中に COSMO がある。令和4年11月25日（金）～27日（日）にパシフィコ横浜で、本法人も参加している重度障害者・生涯学習ネットワークが「文部科学省委託事業 訪問カレッジ『学びの実り アート&ミュージックミュージアム』」を開催した。会場の ICT 機器体験ブースに展示されていた COSMO をビデオ

通話で、訪問カレッジの学生に紹介したところ、大変関心を示していた。今回の購入によって、学生自身が自宅で実際に体験できることを楽しみにしている。

今後の課題としては、配備した機器を学習支援においてよりよく活用することである。文部科学省 GIGA スクール構想により、特別支援学校等では、児童生徒一人1台の端末や ICT 機器の充実が図られているが、現在十分に活用できていない状況がある。重度・重複障害児者の学びへの ICT 機器の活用は教育現場でも手探りの状況にある。当法人でも、基本的な使用方法から学生個々の実態に合わせた活用の仕方などを、訪問カレッジ学習支援員打合せ会で継続的に交流し、実践を積み上げていき、その実践を医療、福祉、教育等の学会や専門誌等で全国に発信していきたいと考えている。

公益財団法人 洲崎福祉財団 令和4年度上期一般助成
訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ@希林館」
における ICT 機器の充実事業報告書
令和5年1月15日
特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所